

令和6年度 神戸市ものづくり工場の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	本市における「ものづくりの拠点」として、中小製造事業者及びものづくり技術の高度化を図る製造事業者を支援し、本市産業の活性化を推進することを目的として設置。
(2)事業内容	・工場の管理運営（使用許可、使用料等の徴収、施設及び設備の維持管理、保安警備、清掃、全体調整） ・工場な利便施設の管理運営（i-cafe108の管理運営、自動販売機）
(3)施設内容	生産施設（242ユニット）、駐車場（立体215台）、駐輪場（250台）、会議室（4室）、神戸リエゾン・ラボ（産学連携共同研究開発支援施設）等 ※神戸リエゾン・ラボの事業運営は、指定管理者の業務の範囲外

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	神戸電鉄グループ共同事業体
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数： 1 ）
(4)R6年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 162,070,000円（決算額）160,993,707円

3. 令和6年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和6年度の主な実績
(1)管理実施状況	
①施設の維持管理業務	・保全業務（施設・設備の運転・監視及び日常点検・保全業務、定期点検・保守業務等） ・修繕及び改修工事等（修繕、改修工事、改造・改装等） ・清掃業務（日常清掃、定期清掃、ごみ処理等） ・保安警備業務（防災監視業務、警備業務、駐車場管理業務、巡回業務、緊急対処業務、工場内秩序維持 等） 【令和6年度の主な取り組み】 ・施設、設備の経年劣化対策（建物・設備の点検及び懸案箇所に係る内部監査を実施し、優先度を考慮した修繕工事を順次実施） ・清掃業務（日常清掃・定期清掃を行うとともに、構内巡回や衛生面にも配慮した対策を実施） ・保安警備業務（24時間警備・不法投棄への警戒業務、危険樹木の撤去伐採、入場口開閉時間や防犯カメラの配置、南門に非常用インターホンを設置するなど日々の警備体制の見直し） ・営繕工事を要する箇所の提案、工事の工程調整、入居企業との調整
②施設の運営業務	・利用及びその制限に関する業務（公募、使用許可・取消、使用者からの承認・届出申請対応、防火管理等） ・使用料の徴収、減額、免除及び返還に関する業務（使用料等の徴収補助業務、債権管理補助業務等） 【令和6年度の主な取り組み】 ・使用料等の納付指導を行い、特に3か月未満の初期滞納者に対する取組みを重点的に実施した。 ・退去企業の機器の搬入搬出支援、処分・修繕工事等の円滑化 ・「防災タイムス」を配布し、防災・安全管理面の意識啓発を行うとともに、入居企業を対象に防火防災訓練・講習会を実施した。 ・共用部（廊下）に残置している資材等に関し、口頭及び文書による巡回指導、撤去勧告を実施した。 ・アンケートで意見の多かった不正駐車に関する巡回指導、防止策を講じ、今年度アンケートでは意見がなくなった。 ・新規入居企業の獲得に向けて、積極的な募集・PR活動を行った。 （HPや電車内広告への掲載、展示会への出展等を実施）
③自主事業等	・入居企業の活性化に向けた取組みを実施（入居企業で組織する活性化協議会との協働、神戸リエゾン・ラボとの連携） ・利便施設の効果的な運営を実施（i-cafe108の管理運営、自動販売機・カラーコピー機の設置） 【令和6年度の主な取り組み】 (1)活性化に向けた取組み ・国際フロンティア産業メッセにおいて、入居企業の出展支援及び当工場のPRを実施。 ・「トライやる・ウィーク」「修学旅行生」の受入れに協力している。 ・ものづくり工場内入居企業が周辺エリアで開催される「オープンファクトリー」に参加、指定管理者として、出展企業募集ならびに当日運営の調整や補助も実施。 ・交流促進のため、納涼会、もちつき大会、企業交流会（名刺交換会）を実施。 (2)i-cafe108の運営 ・無人コンビニによる軽食等の販売や自動販売機・カラーコピー機・ミーティングスペースの設置。 ・入居企業の製品PRコーナーとしてショーケースの設置 ・中小企業支援制度に関する各種パンフレットの設置
(2)利用状況	
①施設の利用者数	▼ 生産施設利用率(算出方法:使用許可(入退去)件数による)
	目標 90.3% 実績 96.1% 達成 要因 空室情報のPR、増室希望が多いため
	▼ 駐車場利用率(算出方法:使用許可(入退去)件数による)
	目標 80.4% 実績 89.0% 達成 要因 不正駐車防止、利用率の低い機械式駐車場の下段割引をPR
②各種事業の参加者数	▼ —
	目標 — 実績 — 要因 —

(3)収支状況										
①使用料収入	目標	372383 千円	実績	377993 千円	達成	要因	初期滞納者への納付指導の取組みにより、新規滞納者の発生抑制に努めるとともに、滞納総額の縮減に努める。(R6収納率95%) (目標は過去3年平均値)			
②収支バランス	収入		160993 千円	支出		161242 千円	収支の差	-249 千円	目標	達成
	内訳	指定管理料	160993 千円	内訳	人件費	10430 千円	備品費	0 千円	管理事務費が予算を上回っている。 修繕費、光熱水費、人件費上昇に伴う各費目のコストダウンが難しくなっている。	
		利用料金	0 千円		警備費	17072 千円	消耗品費	0 千円		
		その他	0 千円		清掃費	11163 千円	管理事務費	3824 千円		
					設備費	19114 千円	活性化協議会	524 千円		
					修繕費	19780 千円	事業費	0 千円		
					光熱水費	79335 千円	その他	0 千円		
	(4)満足度調査の結果等									
①調査概要	調査期間:①令和6年10月1日～10月31日(1か月間)②令和7年2月20日～3月12日(3週間) 調査方法:入居者に対する書面アンケート 回答者数:①74社(回答率71.8%)②54社(回答率53.5%) 設問数:①5問②6問 主な質問項目:指定管理者職員の対応、施設利用状況に関する満足度(利用頻度)と選択回答									
②結果(満足度)	▼ 職員対応の満足度(算出方法:「大変満足」・「どちらかといえば満足」と回答した人の割合)									
	目標	70%	実績	84%	達成	要因	丁寧な対応であると評価いただいている。(昨年度)90%			
	▼ 施設管理の満足度(算出方法:「大変満足」・「どちらかといえば満足」と回答した人の割合)									
	目標	70%	実績	84%	達成	要因	清掃、警備等丁寧であると評価いただいている。(昨年度)87%			
	▼ 管理運営全体の満足度(算出方法:「大変満足」・「どちらかといえば満足」と回答した人の割合)									
	目標	70%	実績	74%	達成	要因	概ね満足との評価をいただいている。(昨年度)87%			
③主な意見・苦情、対応	情報提供のタイミングを早めてほしい、敷地内全面禁煙としたが喫煙者のマナーがよくないため喫煙所を作ったほうがよい、使用料の納付書対応の利便性を高めてほしい等。									

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。
(2)利用状況	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	50 点	1.2 (提案をやや上回る)	60
(2)利用状況	20 点	1.2 (提案をやや上回る)	24
(3)収支状況	20 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	20
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計 114 点
【AAA】150～121点、【AA】120～101点、【A】100～81点、【B】80～61点、【C】60点			総合評価 AA

令和6年度 有馬温泉の館(金の湯・銀の湯)、有馬観光交流センター、太閤の湯殿館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	<有馬温泉の館> 有馬温泉における温泉資源を適切かつ有効に活用することにより、市民及び他からの観光客の健康増進を図るとともに、神戸の観光振興に資するため設置。 <有馬温泉観光交流センター> 有馬温泉における地域の活性化を図るとともに、伝統的な芸能及び風俗慣習の実演及び体験の場を提供し、また有馬温泉の観光資源を紹介することにより、神戸観光の振興に資するため設置。 <太閤の湯殿館> 太閤秀吉ゆかりの湯山御殿の遺構及び出土品その他歴史資料の保存及び活用を図ることにより、有馬温泉の歴史及び文化に接する機会を提供するとともに、神戸観光の振興に資するため設置。
(2)事業内容	<有馬温泉の館> 金泉と呼ばれる赤褐色の温泉を有する「金の湯」と、銀泉と呼ばれる無色透明の温泉を有する「銀の湯」を提供すること。 有馬温泉における上記の温泉資源を適切かつ有効に活用すること。 他、(1)の設置目的を達成するため必要な事業。 <有馬温泉観光交流センター> 伝統的な芸能及び風俗慣習の実演及び体験の場を提供し、また有馬温泉の観光資源を紹介する展示を行う。 他、(1)の設置目的を達成するため必要な事業。 <太閤の湯殿館> 太閤秀吉ゆかりの湯山御殿の遺構及び出土品その他歴史資料の展示を行う。 他、(1)の設置目的を達成するため必要な事業。
(3)施設内容	<有馬温泉の館> 金泉と呼ばれる赤褐色の温泉を有する「金の湯」と、銀泉と呼ばれる無色透明の温泉を有する「銀の湯」の2施設があり、温泉入浴施設のほか、ロビーや休憩施設などの便益施設を有する。 ・浴室面積 金の湯 183㎡ (男93㎡、女90㎡) 銀の湯 123㎡ (男65㎡、女58㎡) ・浴槽面積 金の湯 58㎡ (男29㎡、女29㎡) 銀の湯 44㎡ (男23㎡、女21㎡) <有馬温泉観光交流センター> 多目的室、会議室、和室、ギャラリー・ロビー、その他の便益施設 <太閤の湯殿館> 展示室、庭園、和室、その他の便益施設

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	一般財団法人神戸観光局
(2)指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)
(3)選定方法	公募 (応募団体数: 1)
(4)R6年度 市支出額(単位:円)	市支出は無し(利用料金収入等、指定管理者の収入のみで運営)

3. 令和6年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和6年度の主な実績
(1)管理実施状況	
①施設の維持管理業務	(1)建物の管理 <有馬温泉の館> 指定管理者直接雇用のスタッフにより営業時間中は巡回清掃を実施し、利用者が快適に過ごせる環境を提供した。営業時間外の夜間は、浴槽清掃や脱衣場、ロビー、高所などのバフリックの場所について専門の業者に委託し、仕様書に基づき実施した。また、夜間警備については夜間浴槽清掃スタッフ(外注)が常駐し、不測の事案について初期対応及び職員連絡などに対応できる体制を整えている。 <有馬温泉観光交流センター・太閤の湯殿館> 営業時間中の清掃については指定管理者直接雇用のスタッフにより休憩室やロビー、その他の巡回清掃を実施した。休館日は適宜専門業者による清掃を実施した。庭園の管理については、定期的に清掃・剪定を行い、良好な状態を保持した。夜間警備については機械警備を導入しており、緊急事案に対応できる体制を整えている。 (2)設備の管理 <有馬温泉の館> 日常運転監視業務と法令点検をはじめ、各種の保守点検及び整備を専門業者に委託しており、設備の円滑な運転と設備の良好な状態の保持に努めた。 <有馬温泉観光交流センター・太閤の湯殿館> 専門的な要員は配置していないが、異常があれば職員が対応し、対応ができない場合は専門業者に対応を依頼している。必要な点検等は専門の業者に委託し、設備、機器の良好な稼働に努めた。 (3)施設の保全 日常業務の中において点検整備、清掃などを通して故障防止や早期発見に努めた。また、故障があった場合においても、迅速に対応できる体制を整備し、施設の営業に影響のないよう、営業終了後や休館日を中心に補修を実施した。
②施設の運営業務	【施設の魅力向上・利用者サービス向上を目的とした取組み】 ・金の湯では、利用者サービス向上の取り組みとして、指定管理者からの提案により女性用洗面コーナーのリニューアル(大きな鏡面と明るく清潔な化粧台を設置し、パーソナルスペースの確保)、男性・女性用脱衣ロッカーの大型化を行った。 ・銀の湯では、施設の機能維持管理において、地下貯湯タンクの改修工事を実施した。 ・有馬温泉観光交流センターでは、多目的ホールにて「有馬温泉×推しの子」のコラボパネル展示を行った。また、温泉ぎやラリーにて有馬温泉の維持管理を担う湯守の展示コーナーを新設した。 【工事による休館】 金の湯: 令和6年6月3日～令和6年6月25日(23日間) 銀の湯: 令和6年2月5日～令和6年4月25日(81日間)(うち令和6年度は25日)

③自主事業等	1. 利用客増加に向けた取り組み (1)「六甲・有馬周遊1dayバス」 神戸電鉄をはじめとする阪神間の鉄道会社、六甲山のロープウェー・ケーブルと共同で、乗車券と入浴券をセットにした割引企画券を発売した。 (2)「外湯めぐり」 有馬温泉旅館協同組合加盟旅館の宿泊客に対して、同組合が発行する入浴券で「金の湯」「銀の湯」に宿泊者が無料で利用できるメリットを提供し、入浴料は割引料金(450円/人)で組合が負担するサービスを提供し、利便向上に努めた。 (3)小宿とうじ宿泊者への入浴サービス 有馬温泉観光交流センター3階の宿泊施設「小宿とうじ」の利用者が金の湯、銀の湯の営業時間内に何度でも入浴できる割引料金サービス(1泊1人/650円)を提供し、利便向上に努めた。 2. 利用者サービス向上の取り組み (1)誘客イベントの実施 金の湯の白湯槽を利用して、薬草湯等季節折々の各種変わり湯を提供した。 (4月ひのき玉湯、5月菖蒲湯、6月梅湯、7月炭湯、8月ミント湯、9月菊湯、10月生姜湯、11月ひのき玉湯、12月ゆず湯、1月炭湯、2月デコボン湯、3月よもぎ湯) (2)サービスデーの実施(金の湯、銀の湯共通) 性別や年齢に関係なく皆様に半額サービスを提供する日として、毎月第2水曜日を設定し利用者サービス向上に努めた。 3. 利用者向けサービス実施 訪日外国人向け多言語対応(平成28年度～) ・日本の入浴マナー等に不慣れなインバウンド向けにわかりやすく入浴マナーをイラストで説明した多言語(英語、韓国語、中国語(簡体字・繁体字))の施設ガイドを作成し、入浴時のフロントで説明、配布している。 ・有馬4館のHPで多言語(英語、韓国語、中国語(簡体字・繁体字))による案内を行っている。
---------------	--

(2)利用状況

①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法：評価対象期間中に入場した人の総数。）					
金の湯	目標	254,000人	実績	280,628人	要因	国内旅行者の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人旅行者の増加が影響していると推測される。
銀の湯	▼ 入館者数（算出方法：評価対象期間中に入場した人の総数。）					
	目標	116,000人	実績	120,143人	要因	国内旅行者の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人旅行者の増加が影響していると推測される。
観光交流センター	▼ 入館者数（算出方法：評価対象期間中に入場した人の総数。）					
	目標	78,400人	実績	134,635人	要因	国内旅行者の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人旅行者の増加が影響していると推測される。また、近年の素泊まり需要の増加も影響していると考えられる。
太閤の湯殿館	▼ 入館者数（算出方法：評価対象期間中に入場した人の総数。）					
	目標	21,500人	実績	11,076人	要因	展示内容が数年更新されておらず、観光客のニーズに応えるものとなっていない。また、広報が不足しており、施設自体の認知度が低いと考えられる。
②各種事業の参加者数	▼ 六甲・有馬周遊1dayバス（概要：神戸電鉄をはじめとする阪神間の鉄道会社、六甲山のロープウェー・ケーブルと共同で、乗車券と入浴券をセットにした割引企画券を発売した。）					
	目標	（前年度）5,572人	実績	6,932人	要因	国内旅行者の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人旅行者の増加が影響していると推測される。また、登山プロジェクト等の六甲山広報の効果が表れていると考えられる。
	▼ 外湯巡り（概要：有馬温泉旅館協同組合加盟旅館の宿泊客に対して、同組合が発行する入浴券で「金の湯」「銀の湯」に宿泊者が無料で利用できるメリットを提供し、入浴料は割引料金（450円/人）で組合が負担するサービスを提供する。）					
	目標	（前年度）16,401人	実績	16,661人	要因	国内旅行者の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人旅行者の増加が影響していると推測される。
	▼ 小宿とうじ宿泊者への入浴サービス（概要：有馬温泉観光交流センター3階の宿泊施設「小宿とうじ」の利用者が金の湯、銀の湯の営業時間内に何度でも入浴できる割引料金サービス（1泊1人/650円）を提供する）					
	目標	（前年度）2,528人	実績	4,271人	要因	旅行者の増加に加え、近年素泊まり需要が増大していることが影響していると推測される。

(3) 收支状況

①利用料金収入	目標	269888 千円	実績	334703 千円	要因	国内旅行者の動きが堅調に推移したことに加え、訪日外国人旅行者の増加が影響していると推測される。				
②収支バランス	収入		334703 千円	支出		340617 千円	収支の差	-5914 千円	目標	未達成
内訳	利用料収入(金の湯)	187780 千円	人件費	88060 千円	(1) 収支の差 ▲1,000千円(未達成) 全施設において収入は目標を上回ったものの、支出が想定を超過したことにより、収支はマイナスとなった。					
	利用料収入(銀の湯)	65667 千円	物件費	221143 千円	主な支出内容: ① 指定管理者による自主的な取り組みに伴う支出 利用者サービス向上を目的として、「金の湯」の脱衣所のリニューアルを実施した。アンケート結果では、過去2年の水準を上回る満足度を得られており、利用者のニーズを的確に捉えた取り組みであったと評価できる。					
	利用料収入(有馬の工房)	1908 千円	商品仕入費	21402 千円	② 修繕費の支出 施設の老朽化に伴い、必要に応じた適切な修繕対応を実施した。加えて、近年の人件費及び物価の高騰も、支出増加の要因である。					
	利用料収入(太閤の湯殿館)	1825 千円	その他経費	10012 千円	(2) 収入合計 269,888千円(全施設目標達成) ・金の湯 162,334千円(達成) ・銀の湯 58,217千円(達成) ・有馬の工房 1,721千円(達成) ・太閤の湯殿館 1,116千円(達成) ・付帯事業収入 46,500千円(達成)					
	付帯事業収入	67269 千円	(3) 支出合計 270,888千円(未達成) ・人件費 76,546千円(未達成) ・物件費 176,026千円(未達成) ・商品仕入れ費 10,602千円(未達成) ・その他経費 7,714千円(未達成)							
	修繕等超過負担金収入	10254 千円								

(4)満足度調査の結果等						
①調査概要	調査期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日(計12か月間) 調査方法:施設内に用紙を据え置きアンケート調査を実施 ※R6年度からはQRコードを掲示し通年でアンケート調査を実施 回答者数:金の湯・・・・・・・1,282件(8月 672件,12月 610件) 銀の湯・・・・・・・618件(8月 307件,12月 311件) 太閤の湯殿館・・・・・・253件(8月 102件,12月 151件) 有馬観光交流センター・・301件(8月 151件,12月 150件) 設問数:有馬温泉の館・・・13問、太閤の湯殿館・・・11問、有馬温泉観光交流センター・・・14問 主な質問項目:					
②結果(満足度)	▼ 金の湯 総合評価 (算出方法:「総合評価」の質問に、「大変良い」、「良い」と回答した人の割合)					
	目標	(過去2年平均)94%	実績	95%	要因	アンケート結果では「施設の清潔さ・綺麗さ」に関するコメントが数件あり、指定管理者の自主事業として金の湯の脱衣所やロッカーの改修を行い、快適性向上の取り組みを行ったことが満足度の向上に繋がっていると考えられる。(参考)R5年度 95%
	▼ 銀の湯 総合評価 (算出方法:「総合評価」の質問に、「大変良い」、「良い」と回答した人の割合)					
	目標	(過去2年平均)96%	実績	97%	要因	銀の湯の設備改修工事を行ったことで、昨年度以上の高水準の満足度を保っていると考えられる。(参考)R5年度 94%
	▼ 太閤の湯殿館 総合評価 (算出方法:「総合評価」の質問に、「大変良い」、「良い」と回答した人の割合)					
	目標	(過去2年平均)94%	実績	95%	要因	アンケート結果では「温泉の歴史知れてよかった」「実物を見てよかった」とのコメントが多数あり、温泉の歴史や遺構の実物を見ることができ歴史価値の高い建築物であるため、来客者の評価が高いと考えられる。(参考)R5年度 93%
	▼ 有馬温泉観光交流センター 総合評価 (算出方法:「総合評価」の質問に、「大変良い」、「良い」と回答した人の割合)					
	目標	(過去2年平均)94%	実績	95%	要因	アンケート結果では飲食を含む休憩所としての評価や、展示内容について「歴史を知ることができてよかった」という内容が多く、観光地の休憩所としての役割を担うことができていると考えられる。(参考)R5年度 96%
	▼ 金の湯 従業員の対応について (算出方法:「従業員の対応について」の質問に、「大変良い」、「良い」と回答した人の割合)					
	目標	(過去2年平均)89%	実績	89%	要因	訪日外国人向け多言語対応や、指定管理者直接雇用のスタッフによる営業時間中の巡回清掃等の実施の成果によると考えられる。(参考)R5年度 91%
	▼ 銀の湯 従業員の対応について (算出方法:「従業員の対応について」の質問に、「大変良い」、「良い」と回答した人の割合)					
	目標	(過去2年平均)91%	実績	92%	要因	訪日外国人向け多言語対応や、指定管理者直接雇用のスタッフによる営業時間中の巡回清掃等の実施の成果によると考えられる。(参考)R5年度 92%
	▼ 有馬温泉観光交流センター 従業員の対応について (算出方法:「従業員の対応について」の質問に、「大変良い」、「良い」と回答した人の割合)					
	目標	(過去2年平均)91%	実績	93%	要因	アンケート結果では特に従業員に対するコメントはなかったが、指定管理者直接雇用のスタッフによる営業時間中の巡回清掃等の実施の成果によると考えられる。(参考)R5年度 93%
③主な意見・苦情、対応	入館者から直接受けた苦情・意見については、必要に応じて担当職員が応対し、適切な処理をおこなっている。					

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや上回る	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)
(3)収支状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	55 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	55
(2)利用状況	20 点	1.2 (提案をやや上回る)	24
(3)収支状況	20 点	0.8 (提案をやや下回る)	16
(4)満足度調査の結果等	5 点	1.2 (提案をやや上回る)	6

※評価点(合計)の総合評価変換
【AAA】150～121点、【AA】120～101点、【A】100～81点、【B】80～61点、【C】60点

評価点の合計	101 点
総合評価	AA

1. 施設概要

(1)設置目的	ファッションに関する産業及び文化の振興を図るため、人材育成、情報発信、集客等の機能を備えたファッション振興の拠点として平成9年4月に設置。
(2)事業内容	展示室において年間5回の特別展を開催、併せて当館収蔵品のコレクション展も開催し、受付業務及び展示室運営業務を実施する。またライブラリーの運営業務及び貸館(セミナー室、ギャラリー、ホール)の申込受付及び運営業務を実施する。
(3)施設内容	展示室(1階)、ライブラリー(3階)、資料室(4階)、セミナー室(4階)、ギャラリー(4階)、ホール(5階)を有する。

(1)指定管理者名	神戸新聞地域創造・神戸新聞事業社共同事業体
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数：1）
(4)R6年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 274,491,000円（決算額） 292,241,000円

評価項目	令和6年度の主な実績													
(1)管理実施状況														
①施設の維持管理業務	修繕業務については突発的な不具合への対応が中心となるが、展示台のクロス張替、展示室の壁塗装工事を実施し、施設の魅力向上に務めた。施設保全・清掃・警備業務については、仕様の水準を十分満たしている。													
②施設の運営業務	1階の展示運営においては、目標年間入館者数を大きく超え、1年を通じて様々な年齢層の方の来館があった。3階ライブラリーはフリースペースを設けたことで入館者は増加、貸館は自治会との連携を図り、また特別展開連の自主事業を積極的に実施した。													
③自主事業等	特別企画展として、阪神・淡路大震災30年に被災美術館を支援する「石川県能登島ガラス美術館銘品展」を開催した。自主事業として特別展開連の講演会・記念対談、ワークショップ等を実施した。広報においては取材誘致を積極的に行い、またSNS広告・新聞広告等で情報発信を行い集客へ繋げた。													
(2)利用状況														
①施設の利用者数	▼ 展示室入館者数（算出方法：評価対象期間中の展示室に入館した総数）													
	目標	100,000人	実績	139,108人	達成	要因	リピーターを維持しながら、未訪者が訪れたいくなるような魅力的な特別展を実施したため。							
	▼ 神戸ファッション美術館総入館者数（算出方法：評価対象期間中の神戸ファッション美術館に入館した総数）													
	目標	202,200人	実績	246,901人	達成	要因	魅力的な特別展の実施、ライブラリーにフリースペースを設置したため。							
	▼ ホール・セミナー室利用率（算出方法：評価対象期間中のホール・セミナー室のコマ基準（午前・午後・夜間）による利用率）													
	目標	目標平均30%	実績	20.91%	未達成	要因	セミナー室はコロナ禍以降対面での講演会等が減少、ホールは平日の利用率が低く稼働率18.64%（土日祝稼働率は72.82%）							
②各種事業の参加者数	▼ 服飾講座受講者数（概要：評価対象期間中の服飾講座参加人数）													
	目標	3,200人	実績	2,054人	未達成	要因	オンライン服飾セミナー製作・公開時期が2月下旬以降になったため。							
	▼ 特別展開連自主事業（概要：評価対象期間中の特別展に関連して実施したイベント総参加人数）													
	目標	過去平均1,040人	実績	1,546人	達成	要因	300人規模のトークイベントの実施や絵本の読み聞かせ会を実施したため。							
	▼ 情報発信事業（概要：評価対象期間中のホームページページビュー総数）													
	目標	660,000PV	実績	1,160,486PV	達成	要因	魅力的な特別展を開催することで初来館者が増えたため。							
(3)収支状況														
①使用料収入	目標	56600 千円	実績	59815 千円	要因	お客様ニーズにあった特別展を開催し、順調な入館料収入を獲得								
②収支バランス	収入		293313 千円	支出		276964 千円	収支の差		16349 千円	目標 達成				
	内訳	指定管理料	274491 千円	内訳	人件費	87032 千円	事務費	8828 千円	指定管理料収支においては赤字となったものの、使用料のインセンティブがあり、総計では黒字となった。					
		その他	18822 千円		警備費	4574 千円	展示事業費	54372 千円						
					清掃費	3801 千円	ホール運営費	4768 千円						
					設備費	12001 千円	ライブラリー運営費	6017 千円						
					修繕費	6217 千円	広報費	10572 千円						
					光熱水費	77577 千円	その他	1205 千円						

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和6年4月1日～令和7年3月31日(計1年間)※展示室は展示入替期間中及び第5期特別展(第11回日展神戸展)は除く 調査方法: アンケート用紙 回答者数: 展示室8,911人、ライブラリー92人 設問数: 展示室計13問(回答選択式)、ライブラリー計14問(回答選択式) 主な質問項目: 展示内容・ライブラリー利用・スタッフ対応・清掃の満足度及びお客様情報、認知経路、来館経路、来館頻度				
②結果(満足度)	▼ 展示内容の満足度 (算出方法:「特別展はいかがでしたか?」という質問に「非常に良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合)				
	目標	過去平均98.46%	実績	98.78%	達成 要因 魅力的な企画展を実施したため。満足度は数年高水準の数字を獲得。 (参考) 令和5年度 98.88%
	▼ ライブラリー利用の満足度 (算出方法:「利用目的に役立ちましたか?」という質問に「非常に役立った」「どちらかといえば役立った」と回答した割合)				
	目標	過去平均94.63%	実績	95.06%	達成 要因 主な趣味目的利用者に対し、選書が適正に行われているため。 (参考) 令和5年度 94.80%
	▼ スタッフ対応の満足度 (算出方法:「スタッフ対応はいかがでしたか?」という質問に「非常に良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合)				
	目標	過去平均80.11%	実績	80.19%	達成 要因 スタッフの定着、こまめな声かけによるため。 (参考) 令和5年度 78.28%
	▼ 清掃の満足度 (算出方法: 館内清掃は行き届いていましたか?という質問に「非常に清潔だった」「どちらかといえば清潔だった」と回答した割合)				
	目標	過去平均93.60%	実績	94.17%	達成 要因 スタッフの定着、効率的な清掃業務で毎年安定した満足度を獲得 (参考) 令和5年度 93.04%
③主な意見・苦情、対応	・展示の動線について、分かりづらいと指摘する意見が29件あったため、矢印入りカーペットを別途製作、令和7年度より使用している。 ・作品展示キャプション等において、英語表記がないと指摘する意見があったため、令和7年度より英語表記も実施している。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。
(2)利用状況	提案をやや上回る	提案値等の実績が1.2倍以上1.5倍未満であったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.2 (提案をやや上回る)	48
(2)利用状況	40 点	1.2 (提案をやや上回る)	48
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.2 (提案をやや上回る)	12
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計 118 点
【AAA】150～121点、【AA】120～101点、【A】100～81点、【B】80～61点、【C】60点			総合評価 AA

1. 施設概要

(1)設置目的	農業者等の教養及び文化の向上並びに健康の増進を図る場を提供することにより、住民相互の交流及び地域活動の振興に資すること
(2)事業内容	(1)農業者等の農事相談、研修及び諸会合のため、施設をその利用に供すること (2)産物加工のため、施設をその利用に供すること (3)農業関係の図書及び資料を提供すること (4)その他必要と認められる業務
(3)施設内容	(1)多目的ホール (2)研修室 (3)農産物加工室 (4)農事相談室 (5)図書資料室 (6)多目的広場

(1)指定管理者名	神戸市立農村環境改善センター管理運営協議会
(2)指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	非公募（非公募事由:「地域に密着した施設で地域人材を活用する場合」に該当）
(4)R6年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 8,390,000円（決算額） 8,389,349円（追加支出分含まない）

評価項目		令和6年度の主な実績														
(1)管理実施状況																
①施設の維持管理業務		施設の設備保全・清掃・警備業務等は、期待した水準を満たしている。特に、倉庫内など利用者の目の届かない部分についても整理整頓が行き届いている。また、トラブル発生時等においては施設職員が適切に対応し、市に速やかに状況報告を行った。														
②施設の運営業務		施設の貸館業務は、地域住民のほか、区外・市外の方も含め、幅広く利用いただいた。														
③自主事業等		例年実施しているバレーボール大会に加えてポッチャ体験会を開催し、幅広い年齢層の新規利用につながった。														
(2)利用状況																
①施設の利用者数		▼ 入館者数（算出方法：利用申込書に記載された利用人数の総数）														
		目標	過去3年平均 16,640人	実績	18,761人	達成	要因	多目的ホール改修の際にバドミントンコート数を増加したことにより1枠あたりの利用者数増が可能となった。								
		▼ 貸室利用率（算出方法：多目的ホール利用日数（午前1枠・午後1枠とし、それぞれ1件利用があればカウント）÷開館日数×2枠×100）														
		目標	過去3年平均 84%	実績	83%	未達成	要因	目標にわずかに届かなかったが、例年どりの利用率と言える。								
②各種事業の参加者数		▼ -														
		目標	-	実績	-	達成	要因	-								
(3)収支状況																
①使用料収入		目標	2,368,063円	実績	2,699,935円	達成	要因	多目的ホール改修の際にバドミントンコート数を増加したことにより1枠あたりの利用者数増が可能となった。								
②収支バランス		収入		9,168千円		支出		9,167千円		収支の差 1千円		目標	達成			
		指定管理料		8,390千円		人件費		5,112千円		備品費		72千円		光熱費高騰分や不測の漏水調査経費などについて、市から追加支出を行ったが、その他の経費については支出を最小限に抑え、収支のバランスが維持できている。		
		電気代高騰対策		662千円		警備費				消耗品費		622千円				
		内訳	漏水調査経費		116千円		内訳	清掃費				通信費			158千円	
								設備費		540千円		その他			303千円	
								修繕費		136千円						
								光熱水費		2,224千円						
(4)満足度調査の結果等																
①調査概要		調査期間：令和6年7月3日～7月11日（計8日間） 調査方法：ロビーにて配付・回収 回答者数：100人 設問数：8問 主な質問項目：施設・設備、職員に対する満足度														
②結果（満足度）		▼ 施設利用の満足度（算出方法：「満足」「やや満足」と回答した人の割合）														
		目標	過去3年平均 89%	実績	84%	未達成	要因	未達成ではあるが、8割以上の方が満足感を持っており、大きな要因はないと思われる。（参考）R5年度 86%								
		▼ 職員対応の満足度（算出方法：「満足」「やや満足」と回答した人の割合）														
		目標	過去3年平均 85%	実績	86%	達成	要因	過去3年間にわたっても80%以上を維持しており、職員の対応は親切丁寧であると推察される。（参考）令和5年度 81%								
③主な意見・苦情、対応		夏場の利用について、使用開始時に適温となっていないことがあったため、空調の稼働開始時間を早めた。														

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案を大幅に上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案を大幅に上回る効果があったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点 (A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.5 (提案を大幅に上回る)	60
(2)利用状況	40 点	0.8 (提案をやや下回る)	32
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	10 点	0.8 (提案をやや下回る)	8

※評価点(合計)の総合評価変換
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点

評価点の合計	110 点
総合評価	AA

令和6年度 神戸市立六甲山牧場の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	人間と動物と自然の触れ合いの場をつくることによって、市民の教養とレクリエーションに資する。
(2)事業内容	乳牛、馬、緬羊、山羊等の飼育管理、放牧及び展示 牧野、樹林等施設の管理及び環境整備 牧場の施設の維持管理等
(3)施設内容	全体面積125.8haうち一般開放24.4ha。レストハウス、チーズ館、体験学習館、緬羊舎、牛舎、駐車場、牧野等。

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	六甲山牧場運営共同事業体
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数： 1 ）
(4)R6年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 13,823千円（決算額） 14,034千円(高校生無償化補填211千円含む)

3. 令和6年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和6年度の主な実績																																													
(1)管理実施状況																																															
①施設の維持管理業務		牧場内施設の運転・監視及び日常点検・保守や、管理事務所空調機更新やチーズ工場浄化槽工事などの修繕を実施した。そのほか、牧場内過繁茂部の草刈、牧場内の枯木、倒木を適宜撤去した。																																													
②施設の運営業務		但馬牛を含む動物の飼育管理、放牧及び展示を行った。 但馬牛について学ぶ「和牛教室」の開催や、牛舎にライブカメラを設置し、場内2ヶ所のモニターからリアルタイムでの配信もしている。和牛舎見学通路を設置し、防疫対策を施したうえで、海外の方に但馬牛の見学と肉牛のPRも行った。 ほかにも、本来高いところを好むヤギの行動を見ることができるよう、ヤギの渡り橋を適切に管理したり、体験型エンターテインメント牧場を目指し、ゴールドラッシュパークのオープンやシーブレースなどのイベントを開催したりすることで、入場者やリピーターがより楽しめる工夫をしている。																																													
③自主事業等		売店やレストラン等の管理運営や、牧場内生産乳製品の製造販売に関する業務を行った。 施設内で手作りされたチーズである「六甲山牧場グラン(セミハード)」が2024年ジャパンチーズアワードにて金賞を受賞した。また、その品質の高さを認められ、JAL国際線ファーストクラスの機内食(欧米路線2024.12～2025.2)にも採用された。 そのほか、売店などでオリジナル商品を販売し、特にソフトクリームに顔や角を付けた「牛さんソフト」はSNSでも話題になっている。																																													
(2)利用状況																																															
①施設の利用者数		▼ 入館者数（算出方法:評価対象期間中の六甲山牧場に入場した人の総数） <table><tr><td>目標</td><td>260,000人</td><td>実績</td><td>313,261人</td><td>達成</td><td>要因</td><td colspan="5">新しいイベントの開催やSNSを活用した広報等が新規入場者獲得やリピーターを飽きさせない工夫となっていると考えられる。</td></tr></table>										目標	260,000人	実績	313,261人	達成	要因	新しいイベントの開催やSNSを活用した広報等が新規入場者獲得やリピーターを飽きさせない工夫となっていると考えられる。																													
目標	260,000人	実績	313,261人	達成	要因	新しいイベントの開催やSNSを活用した広報等が新規入場者獲得やリピーターを飽きさせない工夫となっていると考えられる。																																									
②各種事業の参加者数		▼ 食体験教室事業（概要:バター作りやチーズ作りなどの畜産物加工体験を実施） <table><tr><td>目標</td><td>18,000人</td><td>実績</td><td>17,442人</td><td>未達成</td><td>要因</td><td colspan="6">ほぼ目標どおり</td></tr></table> ▼ ポニー乗馬体験事業（概要:ポニー、在来馬を用いた引馬による乗馬体験） <table><tr><td>目標</td><td>20,000人</td><td>実績</td><td>21,411人</td><td>達成</td><td>要因</td><td colspan="6">ほぼ目標どおり</td></tr></table> ▼ 子牛ミルクやり体験事業（概要:1回300円で子牛のミルクやり体験を実施） <table><tr><td>目標</td><td>6,500人</td><td>実績</td><td>7,631人</td><td>達成</td><td>要因</td><td colspan="6">入場者数の増加に伴い増加</td></tr></table>										目標	18,000人	実績	17,442人	未達成	要因	ほぼ目標どおり						目標	20,000人	実績	21,411人	達成	要因	ほぼ目標どおり						目標	6,500人	実績	7,631人	達成	要因	入場者数の増加に伴い増加					
目標	18,000人	実績	17,442人	未達成	要因	ほぼ目標どおり																																									
目標	20,000人	実績	21,411人	達成	要因	ほぼ目標どおり																																									
目標	6,500人	実績	7,631人	達成	要因	入場者数の増加に伴い増加																																									
(3)収支状況																																															
①利用料金収入		目標	179,109千円	実績	213,425千円	達成	要因	各週末、夏休み、秋の連休等に集中してイベントを行い、目標入場者260,000人に対し、来場者は310,000人を超えたことによる。																																							
②収支バランス		収入		233,166千円	支出		233,370千円	収支の差	-204千円	目標	未達成																																				
内訳		指定管理料		13,823千円	人件費		75,571千円	光熱水費	7,720千円	利用料金収入が増加したことで、施設の修繕を当初計画よりも進めた影響により、わずかに目標は未達成となった。																																					
		利用料金		213,425千円	委託料		56,418千円	賃借料	3,993千円																																						
		畜産物収入		5,707千円	修繕費		22,277千円	その他	23,923千円																																						
		高校生無償化補填		211 千円	飼料・稲藁購入費		20,537千円																																								
					管理費		12,099千円																																								
					消耗品費		10,832千円																																								

(4)満足度調査の結果等						
①調査概要	調査期間: 令和6年9月6日～11月4日(計2か月間)					
	調査方法: 場内にアンケート箱を2カ所設置した					
②結果(満足度)	回答者数: 5,114					
	設問数: 7問					
	主な質問項目: 来場のきっかけ、牧場内でよかったもの、入場料金について、各種満足度について					
	▼ 動物に関する満足度 (算出方法: 大変満足・おおむね満足と回答した人の割合)					
	目標	過去平均98%	実績	98%	達成 要因	昨年度と変わらず高い満足度を得た。
③主な意見・苦情、対応	▼ スタッフに関する満足度 (算出方法: 大変満足・おおむね満足と回答した人の割合)					
	目標	過去平均91%	実績	96%	達成 要因	スタッフに関しても高い満足度を得た。
	▼ 設備に関する満足度 (算出方法: 大変満足・おおむね満足と回答した人の割合)					
	目標	過去平均79%	実績	92%	達成 要因	施設の修繕もあり、高い満足度を得た。
	(意見) シープレースや大人の蹄鉄投げ大会などお客様参加型イベントに関して満足の声が多かった。 (苦情) 女子トイレの美装化に関する要望が多かった。令和7年度に改修予定。					

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。
(2)利用状況	提案をやや上回る	提案値等の実績が1.2倍以上1.5倍未満であったため。
(3)収支状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	30 点	1.2 (提案をやや上回る)	36
(2)利用状況	30 点	1.2 (提案をやや上回る)	36
(3)収支状況	25 点	0.8 (提案をやや下回る)	20
(4)満足度調査の結果等	15 点	1.2 (提案をやや上回る)	18
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			110 点
			総合評価
			AA

1. 施設概要

(1)設置目的	学童等に自然に恵まれた環境の中で農業の体験実習及び農業の知識の修得の場を提供するとともに、地域の農業の振興を図る
(2)事業内容	・学童等にわら細工、竹細工等の工芸実習その他の農業の体験実習の場を提供すること。 ・地域の農業者の研修等のために施設を利用させること。 ・地域の老人会その他の団体に施設を利用させること。
(3)施設内容	土間教室、板の間教室、和室(集会室)

(1)指定管理者名	高和自然環境活用センター管理会
(2)指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	非公募（非公募事由:地域に密着した施設で地域人材を活用する場合）
(4)R6年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初)622,000円（決算額）当初額と同額

評価項目	令和6年度の主な実績
(1)管理実施状況	
①施設の維持管理業務	施設の清掃等の維持管理業務は、期待した水準を満たしている。クーラーや消火器の更新を行ったほか、修繕業務においては、板の間のささくれやガラス戸の補修、ハチの巣の駆除など、施設の利便性向上のため、適宜投資した。
②施設の運営業務	施設の貸館業務は、地域住民のほか、区外・市外の方も含め、幅広く利用いただいた。
③自主事業等	地域の方やリピーターによる安定した利用を維持している。

(2)利用状況					
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法：評価対象期間中に、施設を利用した人の総数）				
	目標	過去2年平均 2,903人	実績	2,928人	要因 概ね例年通りの実績であり適切に運営していることが推察される。 (参考)令和5年度 2,820人
	▼ 貸室利用率（算出方法：評価対象期間中の利用団体数÷開館日数×100）※1日1団体の利用				
	目標	過去2年平均 44.0%	実績	45.2%	要因 概ね例年通りの実績であり適切に運営していることが推察される。 (参考)令和5年度 42.8%
②各種事業の参加者数	▼ 農業体験事業（概要：評価対象期間中の農業体験者数）				
	目標	過去2年平均 380人	実績	420人	要因 概ね例年通りの実績であり適切に運営していることが推察される。 (参考)令和5年度 400人
	▼ 工芸実習事業（概要：評価対象期間中の工芸実習の体験者数）				
	目標	過去2年平均 84人	実績	182人	要因 過去2年を上回る実績であり適切に運営していることが推察される。 (参考)令和5年度 133人

(3)収支状況											
収支バランス	収入		920 千円 <th colspan="2">支出</th> <td>920 千円<th colspan="2">収支の差</th><td>0 千円<th>目標</th><th>達成</th></td></td>	支出		920 千円 <th colspan="2">収支の差</th> <td>0 千円<th>目標</th><th>達成</th></td>	収支の差		0 千円 <th>目標</th> <th>達成</th>	目標	達成
	指定管理料	622 千円	内訳	人件費	200 千円	消耗品費	32 千円	支出を最小限に抑え、収支のバランスを維持できていることから、目標達成とする。			
	繰入金等	298 千円		清掃費	6 千円						
				光熱水費	119 千円						
				通信費	105 千円						
				修繕費	215 千円						
				備品費	243 千円						

(4)満足度調査の結果等						
①調査概要	調査期間:令和6年4月2日～令和7年3月29日(計137日間)					
	調査方法:紙(受付時にアンケート用紙を手交・施設利用者(団体)に回答を案内) 回答者数:103団体 設問数:計10問(回答選択式及び自由記載) 主な質問項目:利用者属性、利用回数、利用の契機、利用目的、貸室利用の満足度、良い点・改善点、今後参加したいイベント					
②結果(満足度)	▼ 貸室利用の満足度 (算出方法:「利用の満足度は」という質問に「満足」「やや満足」と回答した人の割合)					
	目標	過去3年平均 98.9%	実績	99%	要因	1日1組の利用であることや、管理者の一定水準での施設管理・応対 待遇ができていると推察される。(参考)令和5年度 100%
③主な意見・苦情、対応	・土間の補修を希望する意見が2件あった。所管課による補修を検討中である。 ・BBQ後のゴミに虫が湧いて困るため特にしっかり片付けしてほしいという意見が1件あったが、指定管理者で利用の都度、清掃し、清潔を心掛けている。					

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点 (A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(2)利用状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
※評価点(合計)の総合評価変換 【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			評価点の合計 100 点
			総合評価 A

令和6年度 神戸市立水産会館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	本市における漁業の振興を図るとともに、漁業者等の教養及び文化の向上並びに福祉の増進を図る。
(2)事業内容	・会館の利用及びその制限に関する業務 ・会館の使用料の徴収、減額、免除及び返還に関する業務 ・会館及び設備の維持管理に関する業務 ・設置目的を達成するための事業の実施に関する業務
(3)施設内容	集会ホール330㎡、大会議室140㎡、小会議室33㎡、和室33㎡、料理教室41㎡(昭和56年度 開設)

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	神戸市漁業協同組合
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日（5年間）
(3)選定方法	非公募（非公募事由:当該施設は神戸市漁業協同組合の本部に隣接し、建物やライフラインを共用するなど一体的な構造となっているため、従来から管理運営を担っている現指定管理者が最も効率的に運営できると判断したため）
(4)R6年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 6,600,000円（決算額)当初額と同額

3. 令和6年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和6年度の主な実績											
(1)管理実施状況													
①施設の維持管理業務		維持管理(開館・閉館・清掃)、備品・付属設備の管理(冷暖房設備、自家発電機、電気、水道、ガス設備その他室内備品)、保守点検(電気設備、冷暖房設備、消防設備、自家発電機)、光熱水費の支払い、小修繕											
②施設の運営業務		条例に基づく使用料の徴収、使用予約受付・許可業務、使用料の減免、使用料の市への納付等											
③自主事業等													
(2)利用状況													
①施設の利用者数		▼ 入館者数 (算出方法:実際の利用者数の集計)											
		目標	過去3年平均 8,635人	実績	7504 人	未達成	要因	令和6年2月より、近隣施設である垂水年金会館の一般利用が再開されたことにより利用者が分散したこと等が考えられる。(参考) 令和5年度 8,104人					
		▼ 貸室利用率 (算出方法:評価対象期間中の〔各室利用回数合計〕÷〔各室の利用可能枠数〕×100)											
		目標	過去3年平均 15.3%	実績	13.4 %	未達成	要因	同上(参考) 令和5年度 13.6%					
②各種事業の参加者数		▼ 貸室事業のうち漁業者等の利用割合 (算出方法:評価対象期間中の〔漁業者等の利用人数〕÷〔総利用人数〕×100)											
		目標	過去3年平均 4.3%	実績	4.6%	達成	要因	利用案内チラシの活用により、貸室の存在や予約方法が以前より周知され、漁業者の利用割合の増加につながったと考えられる。(参考) 令和5年度 4.0%					
(3)収支状況													
①使用料収入		目標	1,712千円	実績	1,131千円	未達成	要因	令和6年2月より、近隣施設である垂水年金会館の一般利用が再開されたことにより利用者が分散したこと、また猛暑の影響により外出を控える人が増えたことが、利用者減少の要因として推察される。(目標値: R6年度予算額(R4年度実績額) 参考: R5年度実績: 1,267千円)					
②収支バランス		収入		6,600千円	支出		7,272千円	収支の差		-672 千円	目標	未達成	
		内訳	指定管理料		6,600千円	内訳	人件費		2,688千円	備品費		光熱水費の高騰に加え、設備の老朽化に伴う修繕対応が発生したこと等により、収入を上回る支出となった。	
			その他		警備費		消耗品費		20 千円				
					清掃費		882 千円	通信費		34 千円			
					設備費		保守点検費		302 千円				
					修繕費		657 千円	〇〇事業費					
					光熱水費		2,689千円	その他					

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和6年4月1日～令和7年3月31日(計12か月間)				
	調査方法: 来館団体へのアンケート調査				
	回答者数: 249団体				
	設問数: 5問(うち満足度に関する項目は2問)				
②結果(満足度)	主な質問項目: 施設・設備、スタッフの接客に関する満足度				
	▼ 施設・設備における「満足」・「やや満足」の回答比率 (算出方法: アンケート集計)				
	目標	過去3年平均 81.8%	実績	98%	達成 要因
	施設の広さや、駐車場も整備されていることが評価されている。(参考) 令和5年度 90.2%				
	▼ スタッフの接客における「満足」・「やや満足」の回答比率 (算出方法: アンケート集計)				
	目標	過去3年平均 85.4%	実績	98%	達成 要因
③主な意見・苦情、対応	対応が早く、丁寧なことが評価されている。(参考) 令和5年度 87.8%				
	・トイレ清掃について床面が水びたしで水切りがされていなくて靴がビチャビチャになった。 →清掃業者に対し、清掃後の床面の水切り(モップ掛け)を徹底するよう指示。 ・イスが高くつみあげられてて上げ下ろしが大変。 →イスの積み上げ方を見直し、利用者が容易に取り出せる高さに調整。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。
(3)収支状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(2)利用状況	40 点	0.8 (提案をやや下回る)	32
(3)収支状況	10 点	0.8 (提案をやや下回る)	8
(4)満足度調査の結果等	10 点	1.2 (提案をやや上回る)	12
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			92 点
			総合評価
			A

令和6年度 神戸市立須磨海づり公園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	市民に安全で快適な海釣りの場及び海上の憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用と健康の増進を図る。
(2)事業内容	市民の余暇の活用及び健康の増進のため、公園を利用させること。 海釣り技術に関する助言、指導等を行うこと。 水産資源の保護育成に関すること。 その他
(3)施設内容	須磨海づり公園(昭和51年4月開園、平成30年8月一時閉園、令和6年11月再開)・・・釣り場、駐車場 管理所その他の関連施設

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	山陽電気鉄道・ハウスビルシステム共同事業体
(2)指定期間	令和6年11月1日から令和12年3月31日まで（5年5か月）
(3)選定方法	公募（応募団体数： 3 ）
(4)R6年度 市支出額(単位:円)	市支出は無し(利用料金収入等、指定管理者の収入のみで運営)

3. 令和6年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和6年度の主な実績										
(1)管理実施状況											
①施設の維持管理業務	施設の保全・清掃業務、施設の修繕業務、施設の保安警備業務										
②施設の運営業務	公園の利用料金の徴収・減額・免除・返還に関する業務、公園の利用及び制限に関する業務、釣りの指導、水産資源の保護育成等に関する業務、安全対策 ①渋滞対策として、山陽電車の切符と基本釣り料もしくはSUMAてらす利用料がセットになった企画乗車券を販売し、公共交通期間利用促進を図った。 ②釣り指導員を釣り台に配置し、初心者等への指導に務めた。 ③兵庫県水産技術センターとも連携し、須磨海苔食害対策の一環としてチヌ釣果数のモニタリングやチラシでの啓発を行った。 ④ライフジャケットの無償貸出し										
③自主事業等	釣具レンタル・販売等、釣り大会・釣り教室の開催、利便施設(売店棟・海浜広場) ①釣具レンタル・販売等（9,908千円） ②釣り大会(1回)、釣り教室(1回) ※釣り教室はコベカツとの連携で実施 ③売店・海浜広場(13,924千円) ④自販機(192千円)										
(2)利用状況											
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法： 釣り客、入園客の合計 ）										
	目標	14,000人	実績	20,457人	達成	要因	施設リニューアル、各種広報により目標を上回る来園があった。				
②各種事業の参加者数	▼ 陸上施設の運営事業（概要： SUMAてらすの運営 ）										
	目標	8,734人	実績	9,471人	達成	要因	海づり公園で見学のみされる利用者も一定数おり、SUMAてらすに取り込めたとや各種広報によりSUMAてらす利用者増加につながったとが推察される。				
(3)収支状況											
①利用料金収入	目標	14,700千円	実績	19,278千円	達成	要因	釣り客数が想定を上回り、さらに見学のみのお客様も多く来られたため、目標以上の収入となった。				
②収支バランス	収入		19,278千円	支出		18,301千円	収支の差		977千円	目標 達成	
内訳	利用料金		19,278千円	内訳	人件費		7,995千円	備品費		初年度は初期経費が大きいことや、閑散期の割合が大きいことから、赤字収支を計画していた。利用料収入が想定を上回り、支出も人件費等をおさえたことで計画収支(-7,444千円)を上回る結果となった。	
	その他				警備費			消耗品費			2712 千円
					清掃費			広告宣伝費			455 千円
					設備費		565 千円	消費税			666 千円
					修繕費			市納付金			2700 千円
					光熱水費		969 千円	その他			2239 千円

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和6年11月1日～令和7年3月31日(計5か月間) 調査方法: 来園者を対象にアンケート調査実施 回答者数: 103名 設問数: 10 主な質問項目: 海づり公園施設、海づりスタッフ、SUMAてらす、イベントの満足度と意見 ※施設再整備後の指定管理初年度であり目標値(比較対象)がないため、目標値70%として評価した。				
②結果(満足度)	▼ ①海づり公園施設の満足度 設問(1)(2) (算出方法: 5段階評価のうち「とても満足」、「ほぼ満足」と回答した割合)				
	目標	70%	実績	77%	達成 要因 リニューアルされた施設で全体の雰囲気や清潔感に満足されている方が多い。
	▼ ②海づり売店の満足度 設問(6) (算出方法: 5段階評価のうち「とても満足」、「ほぼ満足」と回答した割合)				
	目標	70%	実績	49%	未達成 要因 釣りをするうえで必要なものが一式揃っている点が評価されている。未回答が23%で売店を利用されない方と考えられる。
	▼ ③海づりスタッフの満足度 設問(3)(4)(5) (算出方法: 5段階評価のうち「とても満足」、「ほぼ満足」と回答した割合)				
	目標	70%	実績	64%	未達成 要因 釣り知識をもつスタッフを釣り台に配置して指導等行っている点が評価されている。
	▼ ④SUMAてらすの満足度 設問(7)(8)(9) (算出方法: 5段階評価のうち「とても満足」、「ほぼ満足」と回答した割合)				
③主な意見・苦情、対応	目標	70%	実績	60%	未達成 要因 雰囲気や清潔感に対する満足度が高い一方で品揃えや価格設定に満足していない方もいる。
	▼ ⑤イベントの満足度 設問(10) (算出方法: 5段階評価のうち「とても満足」、「ほぼ満足」と回答した割合)				
	目標	70%	実績	54%	未達成 要因 オープン直後の繁忙期もあり多くのイベントは開催することができなかったが、閑散期に大物釣り大会を実施するなど集客を図った。
観光名所としてPR不足→SNS、市広報、情報誌を活用 公園案内わかりにくい→SNSで動画での道案内 栈橋で売店欲しい→移動販売を検討					

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや上回る	提案値等の実績が1.2倍以上1.5倍未満であったため。
(3)収支状況	提案を大幅に上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案を大幅に上回る効果があったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	30 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	30
(2)利用状況	30 点	1.2 (提案をやや上回る)	36
(3)収支状況	25 点	1.5 (提案を大幅に上回る)	37.5
(4)満足度調査の結果等	15 点	0.8 (提案をやや下回る)	12
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			115.5 点
			総合評価
			AA

令和6年度 神戸市立平磯海づり公園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	市民に安全で快適な海釣りの場及び海上の憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用と健康の増進を図る。
(2)事業内容	市民の余暇の活用及び健康の増進のため、公園を利用させること。 海釣り技術に関する助言、指導等を行うこと。 水産資源の保護育成に関すること。 その他
(3)施設内容	平磯海づり公園(昭和59年9月開園)・・・釣り場、駐車場 管理所その他の関連施設

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	(一財)神戸農政公社
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで (5年間)
(3)選定方法	非公募 (非公募事由: ① 海洋レクリエーションと沿岸漁業振興との調和を図り、水産資源の培養を推進することを目的に、神戸市が昭和59年に供用開始した施設である。 ② 水産資源の維持・増大のため、本市海域に適した定着性のある魚種類の種苗生産・中間育成、栽培試験研究を行う神戸市立栽培漁業センターが併設されており、本施設の管理運営は、開設当初から公社に委託している。 ③ 神戸市立栽培漁業センターと連携して、平磯海づり公園入園者による稚魚の放流等の事業を展開しており、海づり公園の設置目的である水産資源の保護育成については、引き続き、栽培漁業センターとの一体的な管理運営による長期的な取組みが必要である)
(4)R6年度 市支出額(単位:円)	市支出は無し(利用料金収入等、指定管理者の収入のみで運営)

3. 令和6年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和6年度の主な実績
(1)管理実施状況	
①施設の維持管理業務	施設の保全・清掃業務、施設の修繕業務、施設の保安警備業務 【6年度の主な取り組み】管理事務所放送アンプ取替工事、駐車場東端フェンス設置工事
②施設の運営業務	公園の利用料金の徴収・減額・免除・返還に関する業務、公園の利用及び制限に関する業務、釣りの指導、水産資源の保護育成等に関する業務、安全対策 ①釣り指導員の配置 職員が釣台や売店で、特に初心者を中心に指導に努めた。 兵庫県釣団体協議会の会員による釣り指導(繁忙期の土日祝日:37日) ②稚魚の放流、アオリイカ産卵床の設置、海底の整備・清掃など ③避難訓練実施、ライフジャケットなどの救命具の設置、市民救命士の資格取得者の配置、AED・救急箱・インセクトボイズンリムーバー等の設置 小型船舶による救助訓練と津波発令時避難訓練を実施(令和7年2月17日) ライフジャケット 大人用80着 子供用120着
③自主事業等	利便施設(売店、自販機、バーベキュー場)の運営、魚食普及のための活魚販売、海釣り人口拡大のためのイベントの実施、地域との連携 ①利便施設(売店:R6 35,167千円 前年比96.0%、自販機:R6 1,860千円 前年比前年比99.1% 活魚販売:R6 2,376千円 前年比85.1%、屋外バーベキュー場の運営:307組(1,540名)来園) ②釣り大会開催(28件、786人) ③釣り教室の開催(9件)
(2)利用状況	
①施設の利用者数	▼ 入館者数 (算出方法:釣り客、入園客) 目標 85,000人 実績 68,275人 未達成 要因 猛暑により、夏休み・秋の連休の利用者数を大きく落としたこと。
②各種事業の参加者数	▼ 自主事業 (概要: バーベキュー場運営) 目標 過去3年平均 1,171人 (225組) 実績 1,540人 (307組) 達成 要因 ログス社と連携してバーベキュー場をリニューアルし、ログス社によるSNS宣伝も開始したことで集客につながったと推察される。(参考)令和5年度 1,194人(252組)

(3)収支状況

①利用料金収入	目標	85,756千円	実績	72,014千円	未達成	要因	パーベキュー場リニューアルや宣伝による集客効果は確認できたものの、猛暑により、夏休み・秋の連休の利用者数を大きく落としたため、目標の収入に届かなかった。			
②収支バランス	収入		72,014千円	支出		76,547千円	収支の差	-4,533千円	目標	未達成
	内訳	利用料金	72,014千円	内訳	人件費	42,627千円	広告宣伝費	1,272千円	支出は概ね計画通りであったが、猛暑により利用者が数が想定より少なくなったことが大きく影響し収入が計画よりも少なくなったため。	
		その他			警備費	458千円	消耗品費	2,083千円		
					清掃費	2,651千円	通信費	484千円		
					施設保守管理費	35千円	消費税	1,876千円		
					修繕費	3,468千円	市納付金	5,552千円		
					光熱水費	1,973千円	その他	14,068千円		

(4)満足度調査の結果等

①調査概要	調査期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日（計12か月間） 調査方法：ホームページ、イベント時のアンケート調査 回答者数：1,037件 設問数：3 主な質問項目：施設・スタッフ・イベントの満足度、ご意見・ご感想									
②結果（満足度）	▼ ①施設の満足度（算出方法：5段階評価のうち「大変満足」、「満足」と回答した割合）									
	目標	過去3年平均 83%	実績	73%	未達成	要因	施設・設備・安全性・利便性が良く、安心して釣りが楽しめる施設として評価されている。 施設老朽化、昔より釣れなくなった、時間を気にせず手頃な料金で利用したいとの意見もいただいた。（参考）令和5年度 87%			
	▼ ②スタッフの満足度（算出方法：5段階評価のうち「大変満足」、「満足」と回答した割合）									
	目標	過去3年平均 83%	実績	67%	未達成	要因	スタッフが親切であると評価されている。 一方、スタッフのアドバイスが釣果につながらなかったことも考えられる。（参考）令和5年度 84%			
	▼ ③イベントの満足度（算出方法：5段階評価のうち「大変満足」、「満足」と回答した割合）									
	目標	過去3年平均 66%	実績	51%	未達成	要因	定期的にイベントや海づり教室が開催されている点が評価されている。 期待していた釣果が得られなかったお客様もいると思われる。（参考）令和5年度 69%			
③主な意見・苦情、対応	施設がきれい、駐車場が近く便利、景色がきれい スタッフが親切 料金が高い、営業時間を延ばしてほしい 手頃な料金にしてほしい									

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(3)収支状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	30 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	30
(2)利用状況	30 点	0.8 (提案をやや下回る)	24
(3)収支状況	25 点	0.8 (提案をやや下回る)	20
(4)満足度調査の結果等	15 点	0.8 (提案をやや下回る)	12
評価点の合計			86 点
総合評価			A

※評価点(合計)の総合評価変換
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点